水辺空間の魅力向上に向けた舟運の活性化

(水辺空間活用(舟運)WGのとりまとめ)

水辺空間活用(舟運)WG取組成果のとりまとめ(目次)

舟運活性化に向けた取り組み

1.	現状・・・・・・・・・・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	9	4
2.	目的・課題と取組の方向性・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	9	7
3.	取組の進め方・・・・・・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	9	9
4.	平成28年度実施内容の分析	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	0	1

舟運活性化に向けた取り組み

1. 現状

現状

現状

主な定期航路



○定期航路

- ・既存航路の約7割が浅草エリアから臨海エリア(日の出、お台場など)を 結ぶ航路が中心
- ・1日約60便(5社)が運航





海舟 東京都観光汽船㈱

こすもす 公財)東京都公園協会

○不定期航路

【レストラン船】

・竹芝・日の出を出航し、お台場などを周遊(主に3事業者が実施)

【日本橋発着クルーズ船】

・日本橋川、神田川、隅田川などを周遊(主に4事業者が実施)

【屋形船】

・船宿や防災船着場(都では越中島など4か所)を出発し、隅田川やお台場方面などを周遊(80を超える事業者)

現状

○主な船着場の位置と設置主体

検討範囲における船着場は合計70箇所

~船着場ごとに設置者・管理者が異なる~

・都が設置した船着場:計25箇所

【河川区域内】19箇所 【港湾区域内】 6箇所

・区が設置した船着場:計32箇所

【河川区域内】 28箇所 【港湾区域内】 4箇所

・国が設置した船着場:計5箇所

【河川区域内】 5箇所 【港湾区域内】 なし

・民間等(※1)が設置した船着場:計8箇所

【河川区域内】 3 箇所 【港湾区域内】 5 箇所

出典:東京都および各区からの資料・情報を基に作成

※1:民間等が設置した船着場のうち定期航路等や積極的に活用されているものを中心に抽出



2. 目的・課題と取組の方向性

目的・課題と取組の進め方

目的

水辺に立地する観光資源などがより多くの航路で結ばれ、舟運が身近な観光交通手段として気軽に利用できるよう取り組むことにより、東京の水辺の魅力を向上

課題

○採算性の確保

・個別の運航事業者にとって新規航路の 創設は負担が大きい

○知名度が低い

・旅行業者や運航事業者へのヒアリングによれ ば、東京の水上交通が内外の来訪者に知られ ていない

○利便性が低い

- ・船着場が分かりにくい
- ・周辺の賑わいが不足している

取組の方向性(社会実験の実施)

○新規ルートの拡充

(船舶の運航は事業者が実施)

- ・利用者ニーズの把握(アンケート等の調査実施)
- ・事業者の枠を超えた予約システムの構築

○舟運・水辺の魅力発信

・各種メディアを活用した戦略的なPR

○利用しやすい環境の整備

- ・駅から船着場への案内サインの拡充 船着場のシンボルマークの整備
- ・船着場周辺でイベント等の実施

※民間のノウハウを活用(東京舟運パートナーズ:(株)電通、松竹(株)、京浜急行電鉄(株)、(株)JTBコーポレートセールスほか7社)

3. 取組の進め方

取組の進め方

取組の進め方(2020年までのロードマップ)

2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
(平成28年)	(平成29年)	(平成30年)	(平成31年)	(平成32年)
○社会実験の開始・運航(9月~12月)・予約システムの構築・PR・船着場周辺の賑わい 創出○結果分析	社会実験の継続・運航(通年型の運航予定)・案内サインの試行・船着場周辺の賑わい 創出の継続	・運航事業者が、順次 ・都や区による案 民間による賑	内サインの設置や	・観光・交通手段として定着

交通戦略推進会議終了後も引き続き水辺空間活用(舟運)WGを学識、地元区、舟運事業者など多様なメンバーによる検討の場として活用

平成28年度実施内容の分析

◆ 平成28年度実施内容の分析

運航

- 社会実験航路それぞれについて、おおよそ40分から1時間以内の運航時間が望ましい
- 料金は距離にもよるが凡そ1,000~1,500円が望ましい
- 本航路にあたっては相対的に定員が少なめ(30人以下)で屋根がある船舶での満足度が高く、満足度に比例して料金許容度も高くなっている傾向が見受けられる
- 船着場、時間帯によっては、同じ地点に戻ってくる周遊タイプのニーズも一定程度あることが分かった
- 当日乗船の割合が予約とほぼ同数であったことを踏まえ、当日の呼び込み及び船着場での乗船処理(チケッティング等)の ニーズが高いことが判明した
- 船着場の予約、運航情報の共有等の業務管理について、これらをシステム化することにより効率的に管理運用が可能になる 部分が見られた

<u>P R</u>

- PRする内容については個別の航路のアピールだけでなく、船上ならではの体験や乗船前後の体験全体をとらえたPRや、 2020年に向けた舟運全体の統合的施策に関する内容のほうがメディアからの注目度が高かった
- 潜在客へのアプローチとしてSNSを活用した結果、インバウンドに対してはTWWS等のサイトの流入につながった一方、 国内の実需に対応するためにはチラシ、リーフレット等の紙媒体の有効性が確認された

平成28年度実施内容の分析

サイン

- ・モデル地区 2 個所について人間工学の見地から「わかりやすさ」「歩きやすさ」などについて検討を実施したところ以下 のポイントを確認した
- ・起点までを指向サインでの誘導が効果的
- ・出口直後は方向の提示が必要
- ・駅構内から出口の選択が可能な誘導が必要
- ・船着場までの道のりにおいて、川の見えないエリアでは不安感が増すため、設置箇所や設置数についての工夫が必要 など

参考

- ・平成28年度の実施内容
- ・乗船者アンケートの分析結果

参考 平成28年度の実施内容(航路、料金)

• 本年度は3ルートを合計で90日間実施。参加船舶数は合計8種類。料金については感度分析のため、11月から冬期料金を設定し、 試行した。



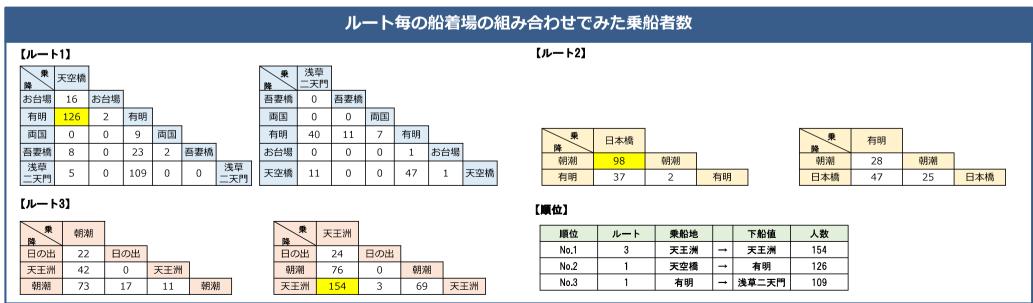




参考 平成28年度の実施内容(乗船者数)

乗船者数は合計で1139名。週別推移としては後半に行くにつれて増加の傾向有。特にルート3の伸びが顕著である。

乗船実績 乗船実績 実施週 乗船者数の调別推移 ルート3 ルート1 ルート2 合計 $9/12 \sim 9/18$ $9/19 \sim 9/25$ $9/26 \sim 10/2$ $10/3 \sim 10/9$ 10/10 ~ 10/16 Q. $10/17 \sim 10/23$ $10/24 \sim 10/30$ $10/31 \sim 11/6$ 11/7 ~ 11/13 $9/12 \sim 9/19 \sim 9/26 \sim 10/3 \sim 10/10 \quad 10/17 \quad 10/24 \quad 10/31 \quad 11/7 \sim 11/14 \quad 11/21 \quad 11/28 \quad 12/5 \sim 10/10 \quad 10/17 \quad 10/14 \quad 10$ 11/14 ~ 11/20 9/18 9/25 10/2 10/9 ~ ~ 11/6 11/13 ~ ~ ~ 12/4 12/11 11/21 ~ 11/27 10/16 10/23 10/30 11/20 11/27 11/28 ~ 12/4 12/5 ~ 12/11 **→**ルート1 **→**ルート2 **→**ルート3 **→**合計 合計



参考 平成28年度の実施内容(賑わい創出・PR)

• 天王洲及び吾妻橋で地域イベントと連携し、航路のPR、アンケート、パンフレットの配布等を実施。 延べ2000名以上にアピール。

天王洲「天王洲キャナルフェス2016秋スーパーハロウィン」











	日程	クイズ回答者数	アンケート回収数	パンフレット配布数
	10/28(金)	159	27	159
果計	10/29(土)	309	66	263
	10/30(日)	528	57	102
	総合計	996	150	524

吾妻橋「グリーンマーケット墨田」













参考 平成28年度の実施内容(PR)

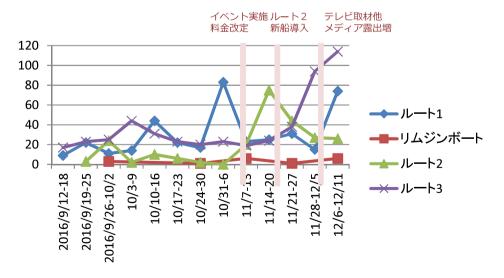
PR露出結果の概要:

- 4か月にわたる媒体各社へのプロモートの成果として、236件に上る露出成果を得た。
- 国内メディアによる都内、国内客へのアプローチだけでなく、インフルエンサーの記事を起点とした海外からの公式予約サイトへの流入も見られ、海外での認知促進に貢献した。
- 単に航路だけをアピールしても一部の航路は観光としての魅力に乏しい部分もありメディアプロモートに苦戦したが、舟運という公益性、2020年にむけた動きなどより広い視点でのニュースソースとしてメディアプロモートを実施すると、メディアからの関心が高まることがわかった。
- 料金改定、新船導入、テレビ取材等メディア露出のタイミングと同調して乗船者数にも一定の変化が見られた。

【PR露出数】

	9月	10月	11月	合計	
媒体	件数	件数	件数	件数	
テレビ	3件	-	3件	6件	
新聞・雑誌	2件	3件	7件	12件	
WEB	60件	135件	23件	218件	
合計	65件	138件	33 件	236件	

【運航実績との相関】



参考 平成28年度の実施内容(テレビ)

NHK総合「首都圏ネットワーク」











フジテレビ「みんなのニュース」

2016年11月7日









東京MX「TOKYO MX NEWS」

2016年9月7日









テレビ朝日「グッド!モーニング」

2016年11月21日







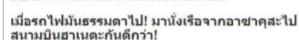


参考 平成28年度の実施内容(SNSの活用)

インフルエンサー活用(海外)

●韓国、タイ







รถใช่ เรียกระบบระส่งสาธารณะหลักๆ ที่เราใช้โรการเลียการใช่ลามที่ต่างๆ ในญี่ปุ่น แต่นอนว่าสันสะความละราคด้วยาก แต่ขึ้นรถใช่ ทุกวันสำคับถือเหละ วันนั้นอดสันอยากทาทุกคนไปทำความรู้จักกับระบบขนต่อสาธารณะอีกลอบที่หลายคนอาจไนเคยรู้ก็ได้ค่ะว่าสันดือยู ซ้าคือ datinaett







参考 平成28年度の実施内容(SNSの活用)

インフルエンサー活用(海外)

●中国大陸、台湾





图1: (充電器被發現了…對!船上可以充電喔」嘻嘻) 以上是#日本永遠丸不完介紹東京特別的觀光系列© 翻訳を見る



参考 平成28年度の実施内容(出版物とのタイアップ)

タイアップ雑誌



男の隠れ家

●出版社:三栄書房●発行日:毎月27日

●部数:150,000

参考 平成28年度の実施内容(タイアップ記事)

タイアップWEB

walker plus



7届デッチボンゾファ(国)で表やから風を乗りたがら、広へい省を無めていると、押口・小児療威略への女関ロ・竹芝客船ターミナルが完えてきた。ここには、父童へ行く「おかさわら知」が、迫力海 所の始かに思させていると、一会はは最かから、ピンクの大路行きさせっトラスイル「ボーイング 知り」が起い付けてきてあったいう間に表って行った「さまざまな概念」が必要して見られるのが面白い。



職物のトレンド発信拠点のひとつてある天王余では、エンタメ祭るぶれるスポットに連貫! ごたから 終予着3.5%と、かなり定めの天王余大権を借い続けるというのだ。「奇ないので立ったり手をぶつ けたりしないでくださいね」と触覚、たび無っているだけでも繋がぶつかりそうな天井を見上げなが 6、こでではエモサイディンクカル解除を終わった。



来王湖の船橋端に近づくと、お西部は森田県が漂う、ライトアップされたウッドデッキが見えてきた。サイドには、金剛を改裁したアメリカルストラン「TY Prather! もあり、まるでアメリカ店等を上限的しょうな国際。「単原所確社会実験のルーズ2016」は、教会者の終わ込みがの状だと聞いていたので、記憶社との原理を伝信等をした直着やいただくことにした。

18時間、 一大見ところがのレインボーブリッショで来ると、空はすっかが関っ場に、キラキラと輝く 日頃や、前から高端ロジェといった。東京なりではの壮大な夜頭が乗しめた、毎日は「クルーズは、 お子さきの現在日にファミリーで相談でお場合もありますが、チートでもかったな多ってみるかい 下すれ、東京タワーには、「毎月の原稿を加入と一緒に覆さと非ぜでなれる」という伝統もあるよう で、それを辿って乗られるカッチがよりたし、プロボーズをするために対明されるかちいらっしゃる んですよ」と思していた。

季能してみて分かったのは"階の上からでは気づかなかったようなスポットを発展で済る"というご と、デート自体に使うも関し、家上からデートスポットをリザーチャるたかに使うも関し、設善のよ うに、新も込んだカケテルではる時に残かる地がいながら必要を取るるもおすずめた。



ちなみに、「東京布庫社会美味ウルーズ2016」の鉄線循行関始に伴い、特益WEBサイト (https://www.twws.jo//が開設されている。航路や料金、船着場局辺に断する情報の提供と共に、 予約も受け付けているのでごちらも服舎チェックしてみてほしい。(ウォーカープラス構像部PR)

